

平成27年度 栄区 運営方針

I 基本目標 **みんなの心ひとつに みんなの力ひとつに すべては栄区のために**

II 目標達成に向けた組織運営

国際セーフコミュニティ都市の職員・職場としての自覚、誇りを持ち、
そして、地域の期待に応えましょう

一人ひとり

ア 感謝の毎日

今、仕事ができていることに
感謝の気持ちを

イ 自分の周りを大切に

職員どうし、上司と部下、さらに、
区民の皆様への気配り、思いやりを

ウ 公務員としての自覚

公務員として誇りと規律のある行動を

すべての職場

ア 人と仕事と気持ちのつながり

職員どうし、係どうし、課どうしが
つながり、チーム力を

イ お客様と心の通う向き合い

一人ひとりが作法と品格のある
おもてなしを

ウ 学び、そして成長

職場は学び舎、職場を通じた
ステップアップを

III 目標達成に向けた主な施策

セーフコミュニティの推進

再認証（平成28年中間審査、30年認証）に
向け、取組を一層強化します。

- 既存の取組とともに、重点事業、防犯分科会の新設、認知度向上など積極的に推進
- 定量化に基づく取組の評価及び地域福祉保健計画の骨子取りまとめ

ウォーキングの推進

健康ライフスタイルとして、多くの区民の
ウォーキング参加を推進します。

- 推進母体である「栄区ウォーキング推進会議」の設立
- 自治会町内会、各種団体、区民利用施設などのウォーキングイベントの共有と広がり

食育の推進

「食と農」を連携させ、栄区産農産物への
理解と普及に取り組みます。

- 生産者、ヘルスメイト、消費生活推進員等と連携した野菜直売などのイベント
- 地元野菜を活用したレシピづくりとメニュー開発

活発な区民活動

地域ケアの推進

コミュニティに支えられた環境の中、自分らしく
暮らし続けられる地域ケアづくりを進めます。

- 地域と連携し、冬季に増加しているヒートショックへの対応を推進
- 地域コミュニティによる見守り、サロン、健康づくりなどの推進

地域防災力の向上

自治会町内会の震災・風水害への共助力発揮を進めます。

- リスクが高い崖地付近の会館等への避難計画策定及び会館等の耐震強化
- 要援護者避難支援を実施する自治会の増加及び全特別避難場所での訓練

本郷台駅周辺のまちづくり

まちづくり構想に基づくにぎわいづくりを本格的にスタートさせます。

- 駅前広場・公園の設計業務のスタート及び商店街活性化の取組
- 国有地の公共施設導入の方向性の取りまとめ

環境まちづくり

エコなライフスタイルを広めるとともに、自然体験により森の魅力を発信します。

- 新たなダンボールコンポスト助成制度に基づく普及と省エネ講座の展開
- 栄区の森の魅力発信の取組及び自然環境を生かした環境学習の推進

活動の土台

郊外住宅地のまちづくり

高齢化が進む上郷東地区で、地域活性化に向けた地元調整をスタートします。

- 地区連合町内会を主体としたまちづくり検討の場づくり
- 旧庄戸中学校後利用検討として考え方の提案と協議

区制 30 周年プレ☆イヤー

平成27年10月～29年3月の500日間を、感謝・つながり・夢をテーマに盛り上げます。
(式典・出版・イベント・まちづくり等)

- オープニングイベント、ロゴマーク作成、区民参加意識の広まり
- 盛り上げイベント(既存イベントの活用)、区民提案の広まり

花いっぱい魅力づくり

区内全域で花いっぱいの魅力づくりに取り組みます。(区庁舎▶本郷台▶区民利用施設▶主要公園)

- 区民参加・地域活性化の全体像の策定
- 区庁舎の一部着手とフラワーサポーター(仮称)の育成

女性や地域の人材活用

多様な「つながり」による女性の地域・職場などでの活躍を支援します。

- 新たな学び舎として SAKAE ソーシャルカレッジを開校
- さかえ girls day・さかえ小町(企業交流会)・さかエールなど、つながりの場の運営

次代につなげる

子育て支援

乳幼児期から学齢期まで、切れ目のない子ども・子育て支援を推進します。

- EPDS*を活用した養育支援、保育所・放課後キッズクラブ等の支援とともに栄区版子ども・子育て支援会議の設立
- 待機児童の解消、はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換等

*エジンバラ式産後うつ評価指標